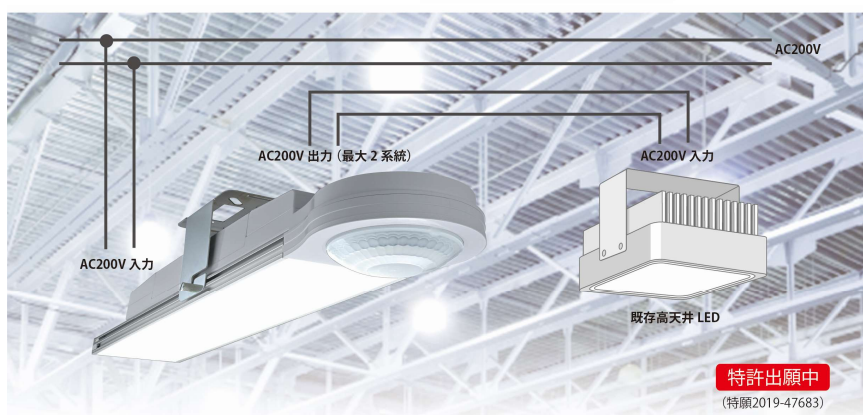


倉庫内の照明に「人感センサー」を設置し、消費電力を抑制することでCO₂排出量を削減

この度、サントリーロジスティクスは、自社拠点における温室効果ガス排出量削減の取り組みの一環として、倉庫内の照明に人感センサー（アイキュージャパン社製「Lumiqs エコセンサー」）を設置いたしました。

本センサーは既に取り付けられた照明においても後付けで設置が可能であり、当社が運営する 浦和美園配送センター・堺第一配送センター・沖縄豊見城配送センター の3拠点に設置を完了しております。本センサーの設置エリアにおいては、設置前と比較し消費電力を約6割抑制することができ、年間で約118tのCO₂の排出を削減いたします。他拠点への設置も計画しており、今後も更なる削減効果の拡大を見込んでいます。

アイキュージャパン株式会社 Lumiqs[®] エコセンサー



既存高天井LEDをそのままに 大幅省エネ

[高天井用LEDの後付センサー - センサー付き高天井LED照明のアイキュージャパン \(lumiqs.jp\)](https://lumiqs.jp)

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた食品酒類総合企業として、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

気候変動については、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出の実質ゼロを目指しています。その達成に向け、2030年までに温室効果ガス排出量を自社拠点で50%削減*、バリューチェーン全体で30%削減*する「環境目標2030」を掲げ、さまざまな取り組みをグローバルに進めています。

※2019年の排出量を基準とする

当社はこれまでも、積極的なモーダルシフトの展開、国内におけるバイオ燃料の実証試験への参画、自社フォークリフトにおける鉛バッテリーの再生化やリチウムイオンバッテリーへの切替えなど、温室効果ガス排出の削減に積極的に取り組んで参りました。

<過去の取り組み>

- ・国内でのトラック輸送においてリニューアブル燃料(再生可能資源由来の燃料)の導入を年内に開始
- ・フォークリフトにリチウムイオンバッテリーと再生バッテリーを使用開始

リチウムイオンバッテリー
(豊田自動織機社製「ENELORE」)



従来の鉛バッテリーとの比較で寿命が長く、交換頻度の低減によるバッテリー製造時の温室効果ガス排出量を削減

再生バッテリー
(イグアズ社 復元テクノロジー「MOTTA」)



復元技術により寿命を迎えた鉛バッテリーが再度使用可能となる。従来の鉛バッテリー製造時と比較して、温室効果ガス排出量を削減

今後も様々な取り組みを通じ、温室効果ガス排出の削減に積極的に取り組んで参ります。また、安全・安心な物流の実現を目指すとともに、先端技術を積極的に活用し、物流業務の自動化・省力化による労働負荷軽減、作業効率化などを実現する「スマートロジスティクス」の取り組みを加速して参ります。

以上

〔本件に関する問い合わせ先〕

サントリーロジスティクス株式会社 経営企画部 広報担当

Tel: 03-6809-5790 Fax: 03-6453-8453

青羽 Mail: keisuke_aoba@suntorylogistics.co.jp 中村 Mail: godai_nakamura@suntorylogistics.co.jp

SUNTORY LOGISTICS
SUNTORY